

記者発表				
月/日(曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤルイン)	発表者名 (担当者)	その他配布先
7月25日(木) 14:00	県立考古博物館 埋蔵文化財課	079(437)5595	副館長兼総務部長 川由 伸一 (埋蔵文化財課長 鐵 英記)	東播磨県民局

宗佐遺跡（加古川市八幡町宗佐）の発掘調査成果と現地説明会について

内 容

東播磨南北道路北工区（主要地方道加古川小野線）道路改築事業に伴って、兵庫県教育委員会は、平成29年度から(公財)兵庫県まちづくり技術センターに委託して、宗佐遺跡（そうさいせき）の発掘調査を進めています。

これまでの調査の結果、弥生時代後期から戦国時代にかけての集落跡が見つかっています。

調査成果を広く県民に公開するため、現地説明会を開催します。

また、当日は、兵庫県立考古博物館でも現地の様子を直接伝えるライブ中継を実施予定です。

【調査成果】

別紙宗佐遺跡調査成果の概要のとおり

【現地説明会】

日時：令和元年7月27日(土) 13:30～15:00

場所：宗佐遺跡発掘調査現場（加古川市八幡町宗佐）

※ライブ中継公開場所：兵庫県立考古博物館（加古郡播磨町大中 1-1-1）

\*現地説明会・遺跡の内容に関する問い合わせは下記のとおりです。

〈問い合わせ先〉

発掘調査現場事務所

担当 垣内拓郎主査、岸本一宏技術専門員、野田優人技術職員、  
松崎光伸臨時的専門職員

TEL 079(438)3222

(平日 12:10～13:00、17:00～17:45)

〈遺跡の内容にかかる問い合わせ先〉

(公財)兵庫県まちづくり技術センター

埋蔵文化財調査部調査第2課長 篠宮 正

TEL 079(437)5561 (土・日曜を除く)

兵庫県立考古博物館 埋蔵文化財課長 鐵 英記

TEL 079(437)5595 (土・日曜を除く)

## 宗佐遺跡調査成果の概要

- 1 遺 跡 名 宗佐遺跡（そうさいせき）
- 2 遺跡の種類 集落遺跡
- 3 遺跡の時代 弥生時代後期～古墳時代初頭、平安時代後期～鎌倉時代、戦国時代
- 4 所 在 地 加古川市八幡町宗佐
- 5 調 査 面 積 約 3,300 m<sup>2</sup>
- 6 調 査 期 間 4月9日～8月8日（予定）
- 7 調 査 原 因 東播磨南北道路北工区（主要地方道加古川小野線）道路改築事業
- 8 調 査 主 体 兵庫県教育委員会
- 9 調 査 機 関 （公財）兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部  
垣内拓郎主査、岸本一宏技術専門員、野田優人技術職員、松崎光伸臨時的専門職員
- 10 調査の概要

宗佐遺跡は、印南野台地（いなみのだいち）の西側に開けた谷が形づくった扇状地上に立地しています。本事業に伴い、平成29年度から実施してきた宗佐遺跡の発掘調査は、今年度で最終となります。

調査の結果、次のことが明らかとなりました。

### 《弥生時代後期～古墳時代初頭（約 1,800 年前）》

- ① 竪穴住居跡（たてあなじゅうきょあと）2棟と溝が見つかりました。
- ② 竪穴住居跡の1棟は、昨年度の調査で見つかった一辺約4mの平面方形の住居に連続するものです。もう1棟は、調査区の南東部から今回新たに見つかった直径約7mの平面円形を呈する住居です。昨年度までの調査と合わせて合計14棟の竪穴住居跡が見つかったこととなります。

### 《平安時代後期～鎌倉時代（約 1,000～800 年前）》

- ① 木棺墓1基、火葬跡1基、鍛冶遺構1基の他に多数の柱跡が見つかりました。
- ② 木棺墓は、平面が隅丸長方形を呈する穴（長さ約2.1m、幅約0.9m）の中に、棺の痕跡（長さ約1.7m、幅約0.5m、深さ約0.1m）が残っていました。
- ③ 火葬跡は、土が焼けて崩れて埋まった穴（長さ約4m、幅約1.5m）と、炭が詰まった穴（長さ約2.3m、幅約1m、深さ約0.07m）が重なって見つかりました。
- ④ 鍛冶遺構は、地面に火熱を受けた炉床（長さ約0.6m、幅約0.5m、深さ約0.05m）で、周辺からは炉に付属するファイゴの羽口（はぐち）や作業時にできた不純物の鉄滓（てっさい）が出土しました。
- ⑤ 柱跡が多数見つかったことで、3棟以上の掘立柱建物跡があったと分かりました。

### 《戦国時代（約 500 年前）》

- ① 洪水によってたまった土砂が、約0.5～0.7mの厚さで、今回の調査区の西側を覆っていました。
- ② 昨年度までの調査成果と合わせると、土砂は南北約60m以上の範囲に広がり、大規模な洪水に襲われたことが分かりました。

## 11 まとめ

- ① 弥生時代後期から古墳時代初頭にかけて、微高地に複数の竪穴住居が継続的に営まれる集落であることが明らかになりました。
- ② 平安時代後期から鎌倉時代には、住居や鍛冶、火葬場、墓といった様々な用途に土地の利用をしている集落の様子が明らかになりました。
- ③ 戦国時代に発生した洪水は、広範囲に及ぶ大規模なものと判明しました。

宗佐遺跡発掘状況写真



弥生時代後期から古墳時代初頭の竪穴住居跡



平安時代後期から鎌倉時代の火葬跡



断面に見える戦国時代の洪水痕